

絵筆が金魚に
命を吹き込む。

金魚絵師

深堀隆介

RIUSUKE FUKAHORI

金魚鉢、地球鉢

YOUR WORLD, MY WORLD

開館時間

10:00~18:00(入館は17:30まで)

休館日

月曜日、9月21日(ただし9月20日は開館)

観覧料

一般 1,000円(800円)

65歳以上・大学生 500円(400円)

高校生以下 無料

※神戸市内在住の65歳以上の方は無料です。

※()内は有料入館者30名以上の団体料金。

※小学生以下は保護者(大学生以上)の同伴が必要です。

※神戸ゆかりの美術館、小磯記念美術館の当日入場券(半券)をお持ちの方は割引が受けられます。

主催:神戸ファッション美術館、神戸新聞社、毎日新聞社 後援:サンテレビジョン、ラジオ関西
展示協力:大阪樟葉女子大学 企画協力:ROBINS

2021年 9月11日(土)~11月7日(日)

※新型コロナウイルスの影響で変更の場合があります。

丹塗9鉢 更紗 2011年、秋歌 2020年、金魚酒 命名 出雲なん 2019年

K 神戸ファッション美術館
KOBÉ FASHION MUSEUM

特別展 深堀隆介展「金魚鉢、地球鉢」

2021.09.11(土) ▶ 11.07(日)

企画概要

驚きの金魚絵を体感！

金魚の持つ神秘性に魅了され、創作を続ける深堀隆介。深堀は透明樹脂にアクリル絵具で金魚を描くという、独自の斬新な手法で注目を集める現代美術家。

極めて独創的な深堀の技法は、器の中に樹脂を流し込み、その表面にアクリル絵具で金魚を少しずつ部分的に描いていき、さらにその上から樹脂を重ねます。その作業を繰り返すことにより、絵が重なり合い、まるで生きているかのような金魚が表現され、圧倒的な立体感をもって観るものに迫ります。その生き生きとしたリアリティは、平面である絵画作品と立体作品の境界に揺さぶりをかける革命的絵画「2.5D Painting」と言えるでしょう。

深堀の金魚作品は、国内はもとより今や世界的にも高い評価を受け、近年ではライブペインティングやインスタレーションにも力を入れ、表現と活動の幅を広げています。

本展では約300点の深堀の作品を展示。絵画でありながら立体的な躍動感にあふれ、不思議な美しさを湛えた“深堀金魚”を存分にお楽しみください。

展示ゾーン概要 (予定)

第1章 — 樹脂との格闘 / 進化する技法

第2章 — 2D - 平面に棲む

第3章 — 遍在する金魚たち 1- 支持体、形式の探究

第4章 — 遍在する金魚たち 2- 日常の景色とともに

第5章 — 2.25D- 表面と深さのはざままで

第6章 — 新展開 - 生まれ続ける金魚たち

本展新作インスタレーション作品《僕の金魚園》は、写真撮影・動画撮影可能な空間となっております。
(※その他の作品は撮影不可です)

深堀隆介

1973年 愛知県生まれ。幼少期に弥富市の金魚を見て育つ

1995年 愛知県立芸術大学美術学部デザイン・工芸専攻学科卒業

2000年 制作に行き詰まりアーティストを辞めようとした時、
部屋で7年間粗末に飼っていた一匹の金魚に初めて魅了される
以後この体験を「金魚救い」と呼び、金魚を描きはじめる

2002年 器の中に樹脂を流し込み、絵具で金魚を描く技法 -2.5D
Painting-をあみだす

2007年 横浜にアトリエ「金魚養画場」を開設

現在、活動の場は国内にとどまらず、ニューヨーク、ロンドン、ミュンヘン、
香港など海外でも個展を開催し、注目を集めている。

横浜美術大学客員教授、愛知県弥富市広報大使。

主な展示作品



月風 2020年

丹塗り椀 更紗 2011年



金魚酒 命名 出雲なん 2019年



ハーフ・ユニバース 2018年





秋敷 2020年

金魚酒 命名 美津島 2010年



方舟 2009年



入館にあたってのお願い

- 入館時の体温測定にご協力ください
- 咳、発熱など体調不良の症状がある方は、ご入館をお断りすることがあります
- マスクの着用をお願いいたします
- 咳エチケットをお守りください
- 手指消毒にご協力ください
- 館内ではお静かにご鑑賞ください
- 近くの方とできるだけ間隔をおいてご鑑賞ください
- 感染予防・拡散防止のため、館内スタッフはマスクを着用しています

ご理解とご協力をお願いいたします



赤琉金 2019年

同時開催

ドレスコレクション展:「赤い服と青い服」

炎のように熱や生命を思い起こす赤。広大な空や海のように知性と穏やかさを感じさせる青。対照的なこの2色は、衣服に於いても特に親しまれ愛され続けてきた重要な色です。どちらの色も古来より植物など自然の材料の中から手間をかけて衣に染められてきました。本展では、西洋の18世紀の貴族の宮廷衣装をはじめ、現代までのデザイナー作品、民族衣装等の収蔵品の中から、赤と青のさまざまな表情をもつ作品の数々を紹介します。古今東西の「赤」「青」をおたのしみください。



ローブ・ア・ラ・フランセーズ
1760 - 70年頃



アビ・ア・ラ・フランセーズ
1740年頃



イブニング・ドレス
キャロ・スール、1932年



ドレス
ビエール・カルダン、1970年

特別展

深堀隆介展「金魚鉢、地球鉢」

2021年9/11(土)～11/7(日)

開館時間 10:00～18:00 (入館は17:30 まで)
休館日 月曜日、9月21日(ただし9月20日は開館)
新型コロナウイルスの影響で変更の場合があります
入館料 一般 1,000円(800円)
65歳以上・大学生 500円(400円)
高校生以下無料

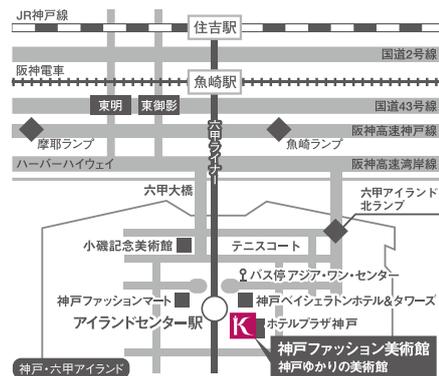
※ 神戸市内在住の65歳以上の方は無料です。
※ カッコ内は有料入館者30名以上の割引料金です。
※ 小学生以下は保護者(大学生以上)の同伴が必要です。
※ 神戸ゆかりの美術館、小磯記念美術館の当日入場券(半券)をお持ちの方は割引が受けられます。

主催:神戸ファッション美術館、神戸新聞社、毎日新聞社
後援:サンテレビジョン、ラジオ関西
展示協力:大阪樟蔭女子大学
企画協力:ROBINS

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中 2-9-1
<https://www.fashionmuseum.or.jp>



お問い合わせ(広報担当)
TEL: 078-858-0050
FAX: 078-858-0058
Email: press@fashionmuseum.or.jp



電車ご利用の場合

JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」で六甲ライナーに乗換、「アイランドセンター駅」下車 南東徒歩3分

お車ご利用の場合

阪神高速神戸線「摩耶」・「魚崎」ランプから約10分
阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプから約2分
三宮からハーバーハイウェイ経由約15分

※ 駐車場は、当館地下の神戸ファッションプラザ駐車場のご利用が便利です。(利用料金: 20分100円・1日最大550円)